

I 平成24年度事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

当協会は、昭和23年8月に財団法人埼玉県消防協会として設立され、「消防思想を普及徹底し、消防諸施設の改善と消防活動の強化を図り、もって社会の災害を防止し、人類共通の福祉の増進に寄与すること。」を目的に活動している。

平成24年4月1日からは、公益法人制度改革関連法の規定に基づき、公益財団法人埼玉県消防協会へと移行した。

公益財団法人移行を契機として、公益性をより高め、県民の更なる安心・安全の確保を図り、福祉の増進に寄与することが求められている。

当協会の事業の内容は、地域の消防・防災活動の中核的な担い手である消防団員及び消防職員への支援を通じて、地域の災害の防止に貢献するための事業を行っており、その概要は次のとおりである。

1 事業の概要

(1) 第27回埼玉県消防操法大会

平成24年8月25日(土)県消防学校を会場とし、県と共催により実施した。

ポンプ車の部に10隊、小型ポンプの部に5隊が出場、参加消防団の技術の向上と士気の高揚に併せて、団結心の強化が図られ、消防団活動の充実発展に寄与した。

なお、小型ポンプの部で優勝した小鹿野町消防団は、埼玉県代表として、平成24年10月7日(日)に開催された第23回全国消防操法大会に出場し、優良賞の成績を収めた。

(2) 定例表彰

ア 第64回定例表彰

平成24年10月19日(金)「埼玉会館小ホール」を会場として、優良消防団員など延べ37団体2,371名を表彰した。

イ 死亡特例表彰

在職中に死亡した消防団員12名に、死亡特例表彰を授与した。

(3) 慰霊祭事業

ア 慰霊祭の挙行

平成24年11月26日(月)県消防学校を会場として、消防殉職・殉難者84柱に対する慰霊祭を挙行、遺族及び消防関係者等、約200名が参列した。

イ 死亡弔慰金の交付

在職中に死亡した17名の消防職団員の遺族に対し、弔慰金を交付した。

(4) 消防団員研修事業

ア 消防団員基礎教育研修

県消防学校と連携し、現地研修修了者(概ね入団3年以内)の新入消防団員を対象とした基礎教育研修を6回実施、合計469人(うち女性38人)が受講した。

回数	実施日	受講者数(うち女性団員数)
第1回	平成24年12月22日(土)	74人(8人)
第2回	平成25年1月12日(土)	95人(2人)
第3回	平成25年1月19日(土)	78人(2人)
第4回	平成25年2月2日(土)	110人(16人)
第5回	平成25年2月16日(土)	82人(9人)
第6回	平成25年3月14日(木)	30人(1人)
合計		469人(38人)

イ 消防団員幹部研修(初級・中級)

県消防学校と連携し、消防団幹部を対象とした幹部研修(初級・中級)を実施、初級98人(うち女性3人)、中級114人(うち女性2人)が受講した。

種別	実施日	受講者数(うち女性団員数)
初級	平成25年3月8日(金) ～9日(土)	98人(3人)
中級	平成25年3月22日(金) ～23日(土)	114人(2人)

ウ 女性消防団員研修

平成24年12月8日(土)、県消防学校を会場とし、女性消防団員の知識及び規律の向上と活動力の強化を目的とした女性消防団員研修を実施した。

各ブロック代表の意見発表のほか、実技研修（救急・救命及び訓練
 礼式）、予防広報（座学）などを実施し、72名が受講した。

エ 住宅用火災警報器設置推進指導員研修

県防災学習センターを会場とし、県内における住宅用火災警報器の
 設置率向上を目的とした設置推進指導員研修を2回実施、216人
 （うち女性36人）が受講した。

回数	実施日	受講者数（うち女性団員数）
第1回	平成24年9月29日（土）	118人（17人）
第2回	平成24年9月30日（日）	98人（19人）
合計		216人（36人）

オ 日本消防協会研修

消防団幹部特別研修に男性1名、消防団幹部候補中央研修に男性3
 名、女性2名を日本消防協会に推薦、全員が受講した。

(5) 普及啓発・活性化事業

ア 防火ポスターの配布

全日本消防人共済会と連携し、防火ポスターの配布や、県内小中学
 校あてポスター図案募集などの事業を行った。

イ 防災講演会の開催（2回）

県防災学習センターにおいて、総務省消防庁消防救急課対策官（併
 任国民保護・防災部防災課消防団専門官）青木浩氏を講師に迎え、「地
 震・風水害等の災害に備えて」と題し、消防団の活動状況についての
 防災講演会を2回開催した。

受講者等については、以下のとおりである。

第1回対象者 …… 県内消防職団員、市町村職員及び防火防災
 人材バンク登録者、

第2回対象者 …… 一般県民等

回数	実施日	受講者数（うち女性）
第1回	平成24年9月22日（土）	112人（10人）
第2回	平成24年12月15日（土）	107人（8人）
合計		219人（18人）

ウ 防火防災指導者人材バンク事業（県受託事業）

県民の防災意識の高揚を図るため、豊富な知識や経験を持つ消防職団員OBなどを、防災講演会や防災訓練の指導者として自主防災会、自治会及び企業等に派遣している。また、同事業をPRするため、リーフレットの印刷・配布を行い、併せて登録者の募集を継続して行っている。

なお、平成24年度の派遣件数は11件で、指導者登録者数は58名である。

エ 女性消防団員活性化事業

平成24年11月16日（金）に開催された第18回全国女性消防団員活性化秋田大会に、県内から女性消防団員など14消防団、4消防本部、合計62人が参加した。

(6) 福利厚生事業

ア 消防団員福祉共済制度

財団法人日本消防協会による、消防職団員を対象とした福祉共済制度等の加入給付手続を行っている。

平成24年は、遺族援護金13件、入院見舞金16件、合計29件、13,894,500円を給付した。

イ 育英支援金の給付

育英支援規程による、殉職消防職団員の遺児に対する育英支援金の給付を行っている。

平成24年度は該当なしであった。

2 役職員に関する事項（平成25年3月31日現在）

(1) 役員数

役 職 名	常 勤	非 常 勤	備 考
会 長	0	1	代表理事
副 会 長	0	3	理事
理 事	1	15	常務理事 1
監 事	0	4	
評 議 員	0	16	
計	1	39	

(注) 同一親族等特別な関係にある者の理事等の役員に占める割合 0%

(2) 事務局職員数

常務理事兼事務局長 (常 勤) 1人
 専門員 (常 勤) 1人
 書記 (非常勤) 1人

(3) 組 織

ア 役 員

会長 (1) — 副会長 (3) — 理事 (16) — 監事 (4) — 評議員 (16)
 関根一彌 (団長) 島田家次 (団長) 新井義一 *団長 (2) *団長 (16)
 坂田秋雄 (団長) (常務理事) *市会計管理者 (2)
 鈴木 博 (団長) 福島 亨
 (県危機管理防災部長)
 *団 長 (7)
 *市 長 会 (3)
 *町 村 会 (3)
 *消防長会 (1)

イ 事務局

常務理事

兼事務局長 (1) ———— 専門員 (1) ———— 書記 (1)
 新井 義一 鷹野 淳子 江中 安秋